

---

# 2011年3月期 決算説明会資料

2011年5月24日

---

**第一実業株式会社**

代表取締役社長 山片康司

証券コード:8059

このたびの東日本大震災により被災された皆様に  
心よりお見舞い申し上げます。

被災地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

社名	第一実業株式会社
設立	1948年8月
資本金	51.05億円
従業員	グループ 1,078名 (2011年4月1日現在)
グループ会社	国内10社 海外19社 (2011年4月1日現在)
事業所	国内7拠点 海外31拠点 (2011年4月1日現在)

## 事業分野

第一実業(株)は、「**信頼されるグローバル・ビジネス・クリエイターへの積極的挑戦**」をスローガンに掲げている機械の総合商社です。

■ **プラント・エネルギー事業**

■ **産業機械事業**

■ **エレクトロニクス事業**

■ **海外法人**

- I . 2011年3月期 決算概要**
- II . 配当政策**
- III . セグメント別概況**
- IV . 海外事業概況**
- V . 2012年3月期見通し**
- VI . 中期経営計画の進捗状況**



# 決算概要 (連結)

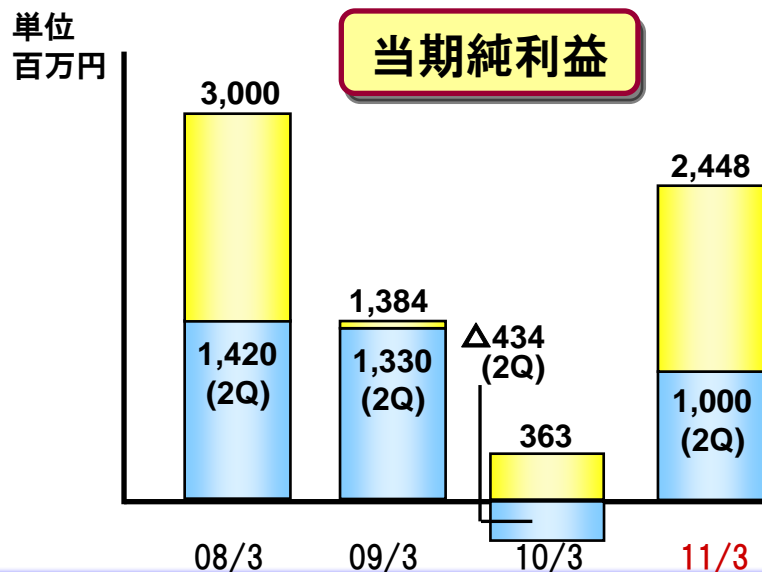
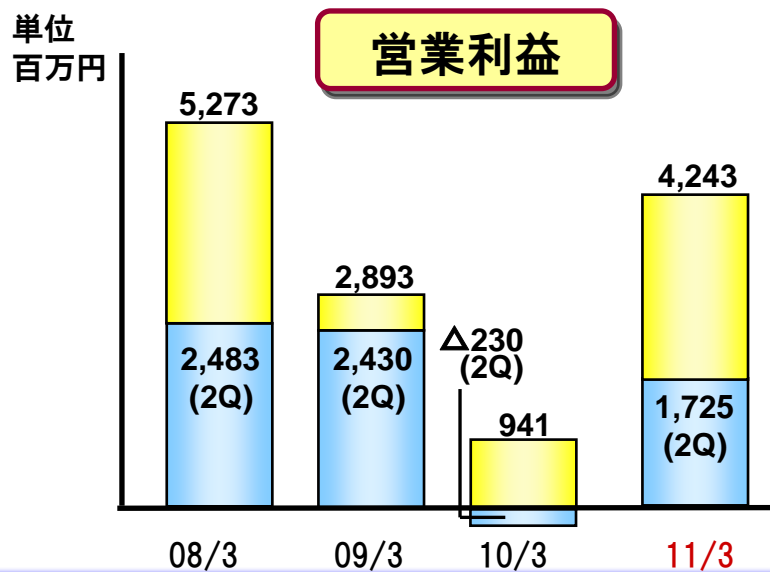
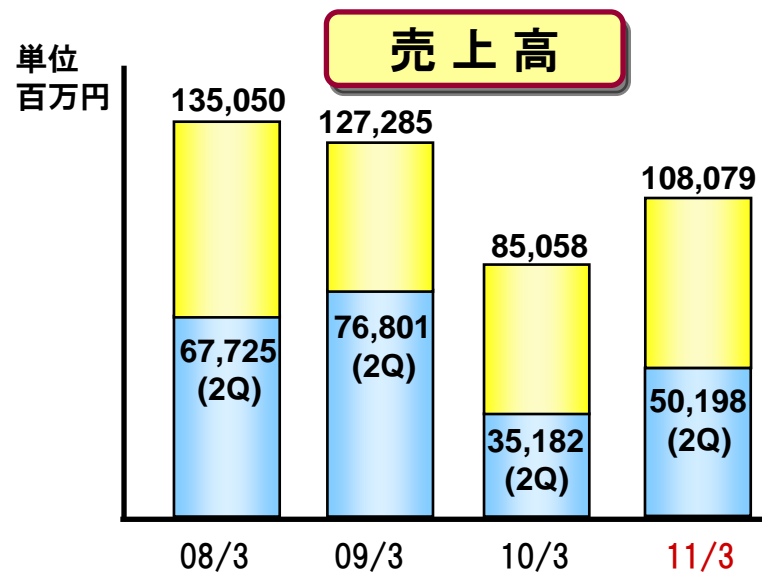
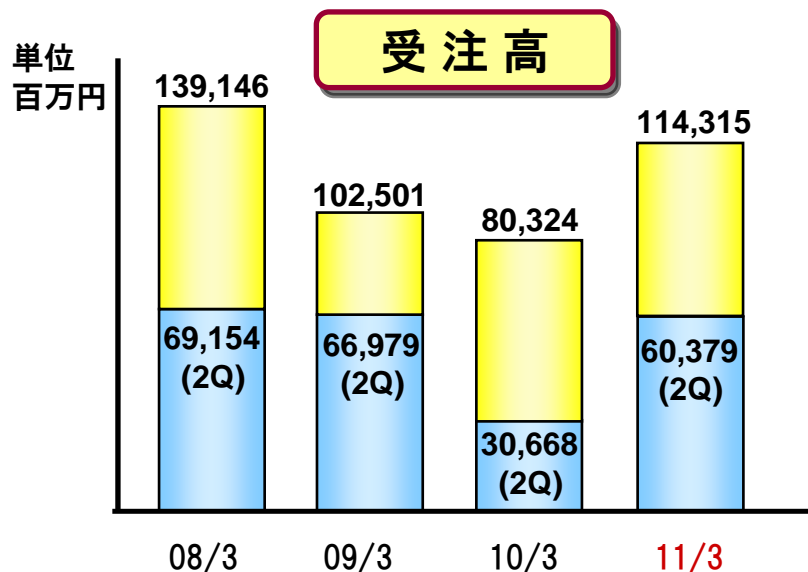


- 新興国を中心とした景気拡大を背景としてエレクトロニクス関連の需要が急回復したほか、企業収益の改善に伴う設備投資の回復により広範な事業で受注が増加し、大幅な増収増益となった。

単位 百万円

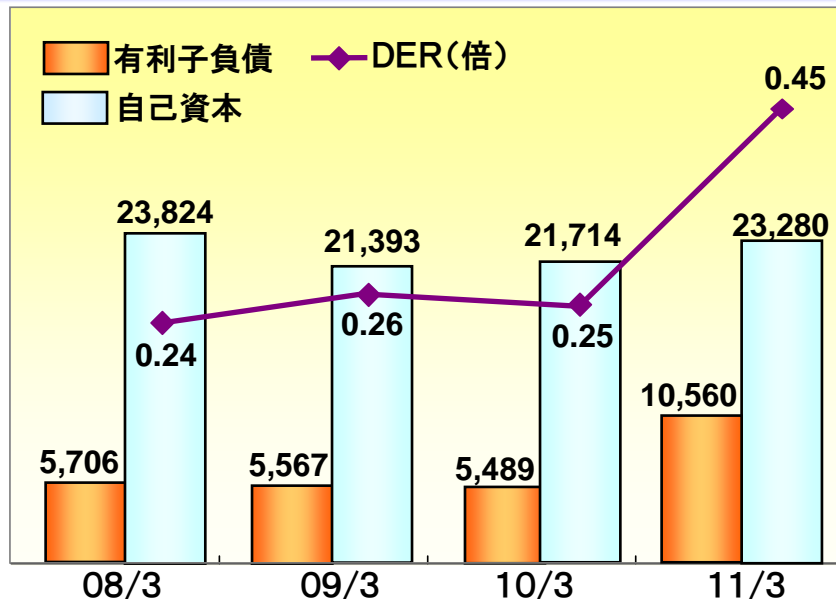
	10/3	11/3	増 減
受 注 高	80,324	114,315	33,990
売 上 高	85,058	108,079	23,021
営 業 利 益	941	4,243	3,301
経 常 利 益	1,241	4,362	3,120
当 期 純 利 益	363	2,448	2,084
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	6.97円	46.90円	39.93
自己資本当期純利益率 (ROE)	1.7%	10.9%	9.2
総資産経常利益率 (ROA)	2.1%	6.8%	4.7

# 受注高・売上高・営業利益・当期純利益 推移(連結)



# 財務の状況・キャッシュフロー (連結)

単位  
百万円



単位  
倍

	10/3	11/3	増減
有利子負債	5,489	10,560	5,070
自己資本	21,714	23,280	1,566
DER	0.25倍	0.45倍	0.20

DER = 有利子負債 ÷ 自己資本

単位 百万円

- 営業キャッシュ・フローは業績回復に伴い増加。
- 投資キャッシュ・フローは投資有価証券の取得に伴い減少。
- 財務キャッシュ・フローは短期借入金により増加。

単位 百万円

	10/3	11/3
営業キャッシュ・フロー	△6,848	690
投資キャッシュ・フロー	1,993	△396
フリーキャッシュ・フロー	△4,854	294
財務キャッシュ・フロー	△372	4,557
現金及び現金同等物の期末残高	7,118	11,878

- I. 2011年3月期 決算概要
- II. 配当政策
- III. セグメント別概況
- IV. 海外事業概況
- V. 2012年3月期見通し
- VI. 中期経営計画の進捗状況

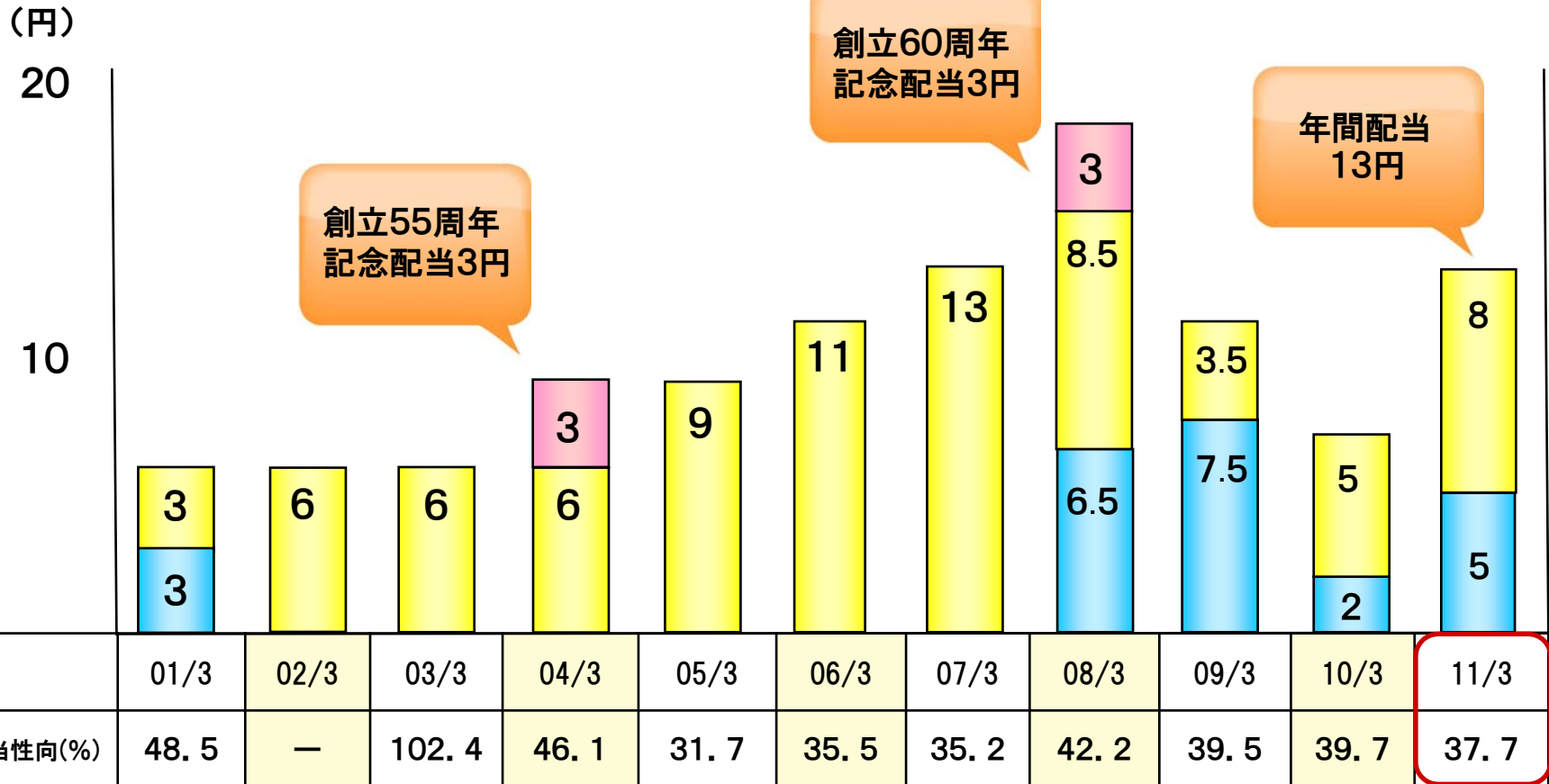




# 配当金の推移・配当性向

- ・ 2011年3月期年間配当は、業績および配当性向等を考慮し13円
- ・ 配当性向は単体利益に対して30%~50%を目処

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 記念配当



- I. 2011年3月期 決算概要
- II. 配当政策
- III. セグメント別概況
- IV. 海外事業概況
- V. 2012年3月期見通し
- VI. 中期経営計画の進捗状況



# セグメント別受注高実績 (連結)

## 受 注 高

単位 百万円

	10/3	11/3	増減率
プラント・エネルギー事業	19,929	19,706	△1.1%
エレクトロニクス事業	19,766	35,266	78.4%
産業機械事業	26,273	35,136	33.7%
海外法人	10,536	20,877	98.1%
その他の	3,818	3,329	△12.8%
合計	80,324	114,315	42.3%

## 売上高

単位 百万円

	10/3	11/3	増減率
プラント・エネルギー事業	28,414	18,767	△33.9%
エレクトロニクス事業	18,723	34,161	82.5%
産業機械事業	25,166	34,454	36.9%
海外法人	8,676	17,217	98.4%
その他の	4,077	3,478	△14.7%
合計	85,058	108,079	27.1%

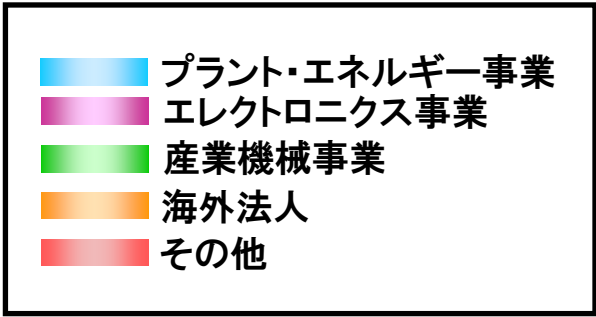
# セグメント別受注高・受注残高実績（連結）



11/3  
受注高 1,143

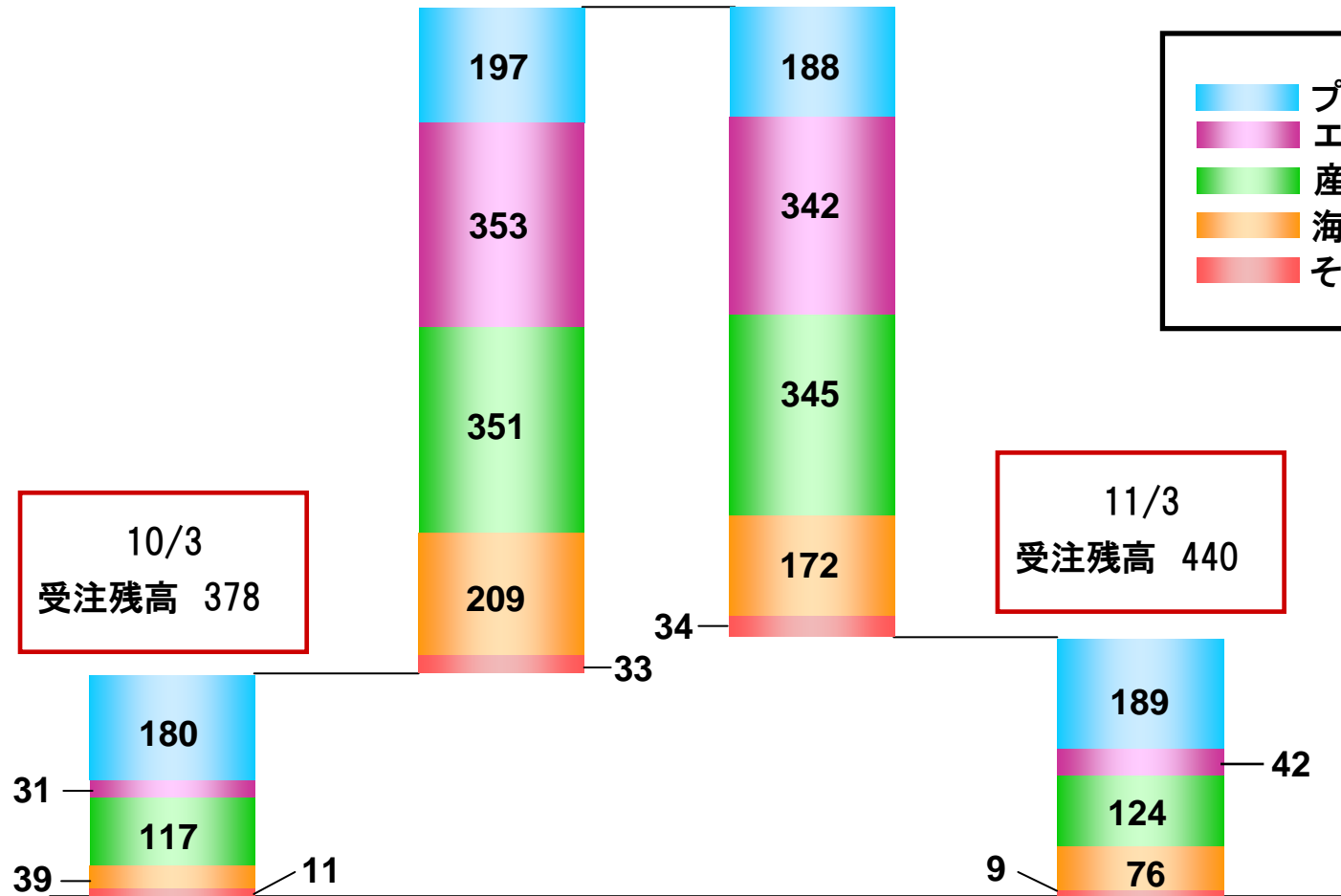
11/3  
売上高 1,081

単位 億円



10/3  
受注残高 378

11/3  
受注残高 440



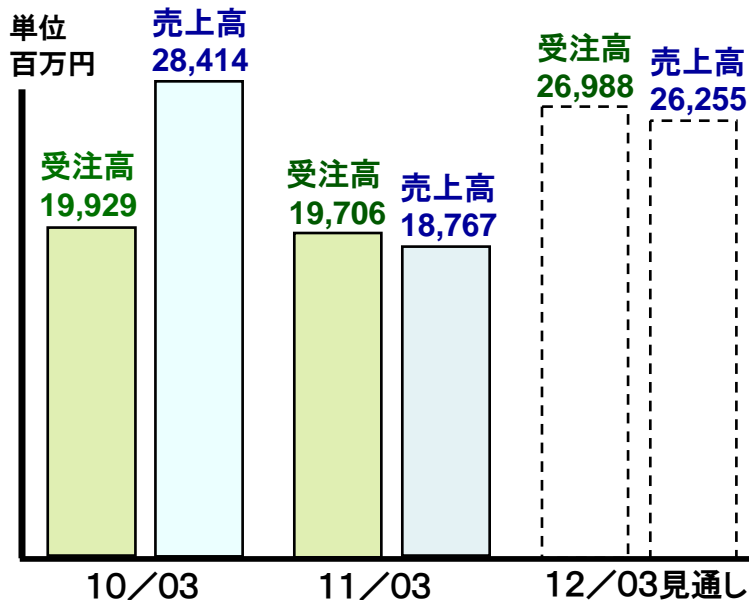
## 事業概況

プラント・エネルギー事業では、エネルギー開発部門(陸上・海上用物理探鉱機器・解析ソフトウェア、陸上・海上用掘削リグ等)、生産・精製部門(石油ガス・地熱生産地上システム、風力・太陽光発電、石油精製プラント、石油化学プラント、エンジニアリング等)、製紙部門(製紙プラント等)に関連する機器・設備を取扱っております。

受注高	19,706 百万円	(前期比 1.1% 減)
売上高	18,767 百万円	(前期比 33.9% 減)

対総売上高比率  
17.4%

### 受注高・売上高



### 2011年3月期 概況

内需向けの大手案件が縮小傾向の中、大手エンジニアリング会社向け石油化学プラント設備や太陽光パネル製造プラント向け設備などを受注。

### 2012年3月期 見通し

新興国向けの各種プラントの商談は増加傾向にあり、内需では震災後の復興に向けたプラント関連の引き合い、クリーン・エネルギー、発電機等に関する引き合いが予想される。

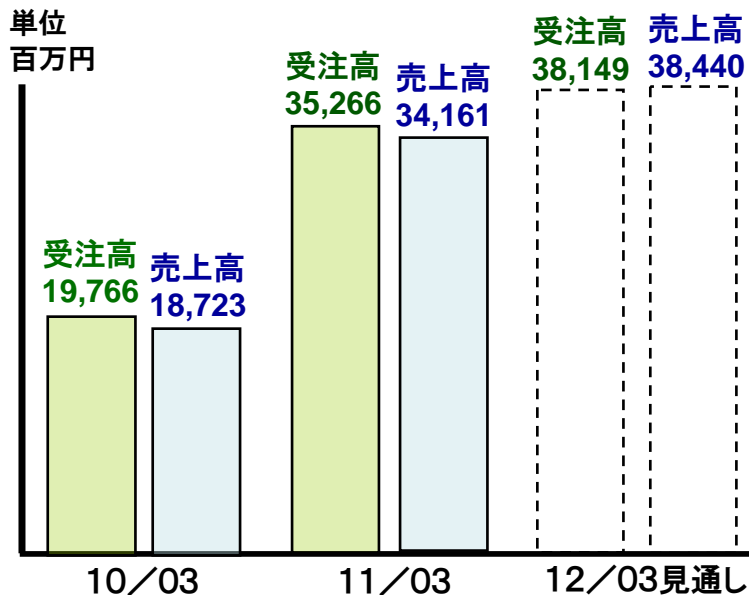
## 事業概況

エレクトロニクス事業では、電子部品実装機(SMT)をはじめとする半導体・液晶モジュール組立関連装置、各種検査機器、周辺機器を取扱っております。

受注高	35,266 百万円	(前期比 78.4% 増)
売上高	34,161 百万円	(前期比 82.5% 増)

対総売上高比率  
31.6%

### 受注高・売上高



### 2011年3月期 概況

上期から薄型テレビやスマートフォン、ゲーム機等の生産設備に対する受注高が大幅に回復。

### 2012年3月期 見通し

海外を中心としてスマートフォン、タブレット向けに引き続き好調を維持するものとみられる。国内も復興に向けての動きが見られるが、サプライチェーン復旧の遅れでタイムラグが生じる懸念あり。

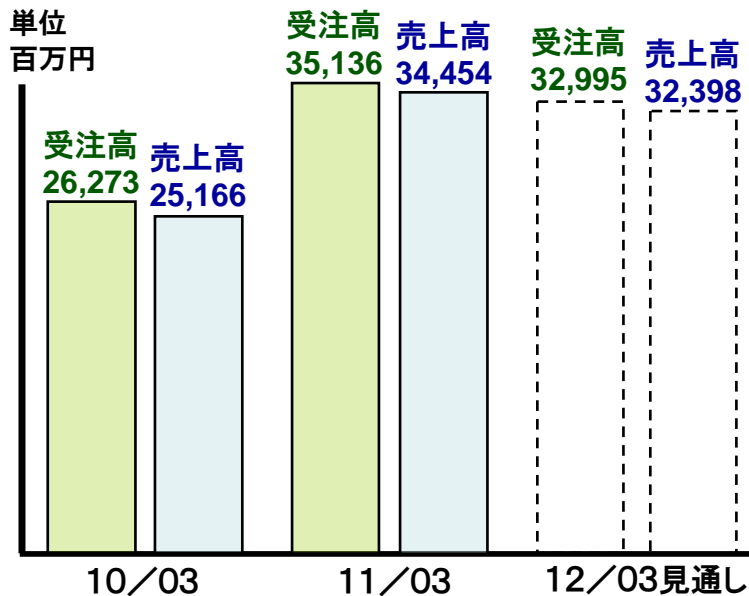
## 事業概況

産業機械事業では、自動車業界・食品業界向けに射出成形機・押出成形機・真空成形機・塗装機器等、医薬品業界向けに錠剤検査機器等、空港業界向けに航空機用デアイサー・トーイングトラクター・除雪車等、二次電池業界向けに焼成炉等を取扱っております。

受注高	35,136 百万円	(前期比 33.7% 増)
売上高	34,454 百万円	(前期比 36.9% 増)

対総売上高比率  
31.9%

### 受注高・売上高



### 2011年3月期 概況

新興国向けの自動車生産設備や家電関連設備、二次電池生産設備関連の受注が好調。エアライン、官公庁向けの特装車の大型受注あり。

### 2012年3月期 見通し

国内では生産体制復旧に向けての引き合いが増加中。LIB、LED関連は堅調の見込み。海外ではサプライチェーン復旧後に向けた新興国向け二輪、自動車関連の生産用設備が堅調。



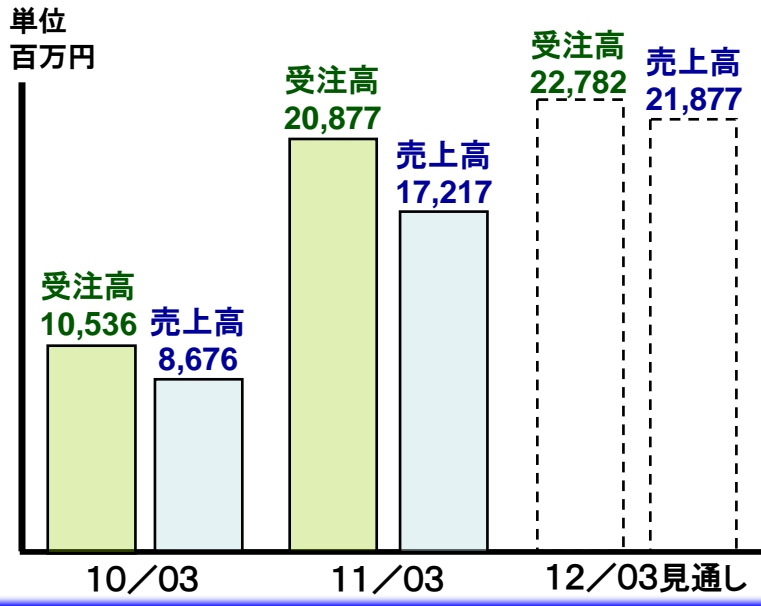
## 事業概況

世界4軸体制を構成する海外現地法人は、当社が国内で取扱っている各種機械機器の販売をするほか、それぞれのエリアでの直接仕入れ・販売も行っております。

受注高	20,877 百万円	(前期比 98.1% 増)
売上高	17,217 百万円	(前期比 98.4% 増)

対総売上高比率  
**15.9%**

### 受注高・売上高



### 2011年3月期 概況

中国、タイ、インド、インドネシアなどアジアの新興国で半導体、家電関連、自動車関連からの受注が好調。米国では電子業界、車載関連向け販売が回復。

### 2012年3月期 見通し

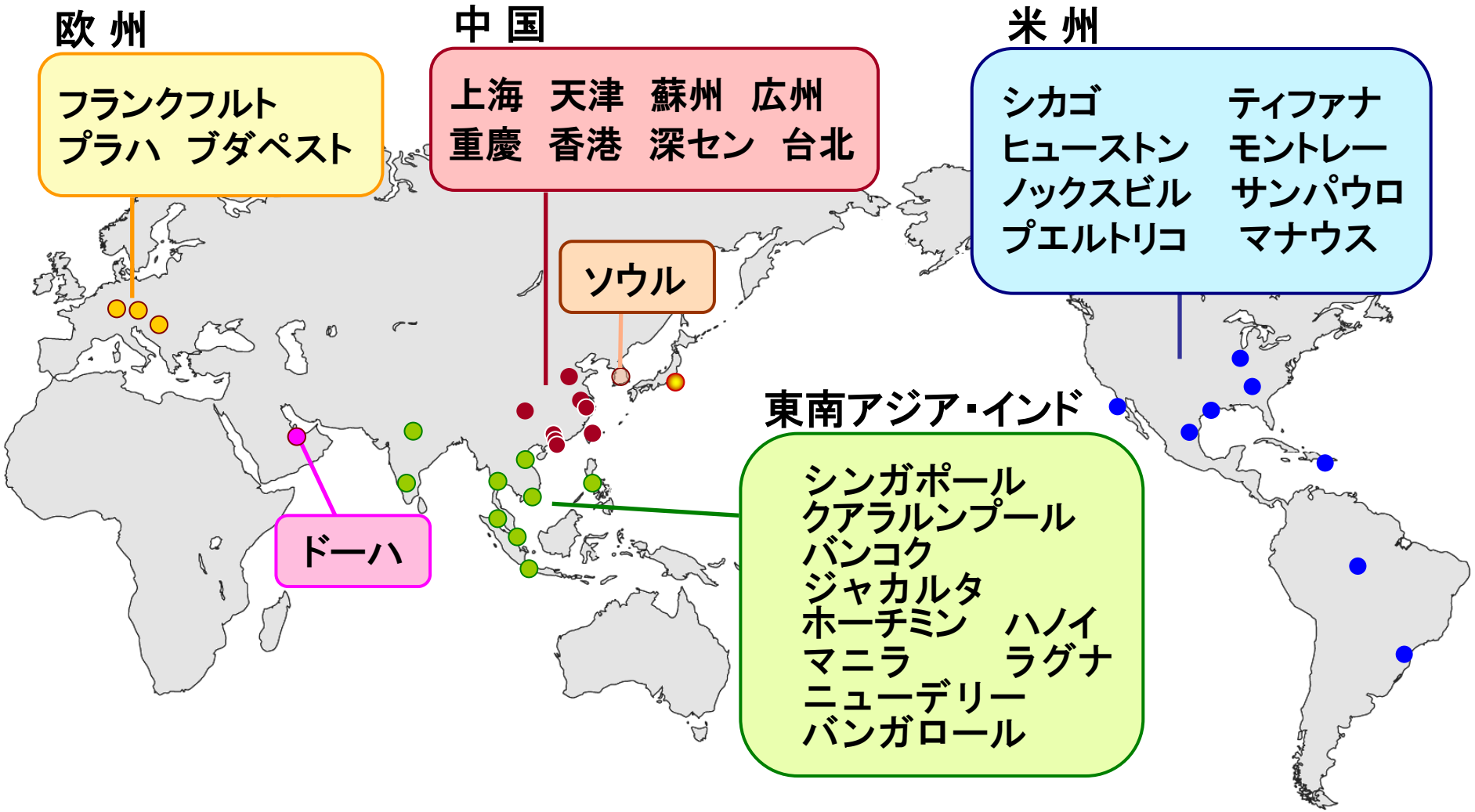
新興国での消費拡大により、引き続き設備投資は堅調と見られる。今後はプラント、環境対策設備等の販売を強化していく。

- I. 2011年3月期 決算概要
- II. 配当政策
- III. セグメント別概況
- IV. 海外事業概況**
- V. 2012年3月期見通し
- VI. 中期経営計画の進捗状況

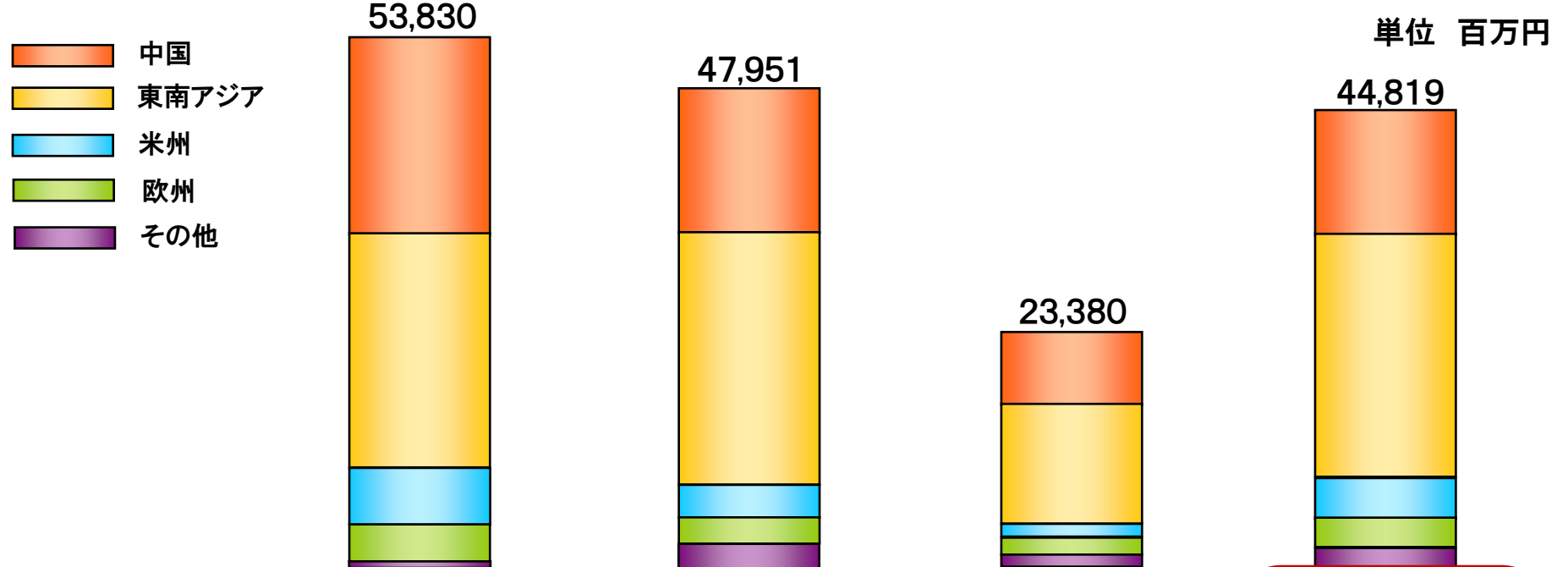


# 海外事業展開

■ 世界4軸体制として中国、東南アジア・インド、米州、欧州を軸に世界18カ国31都市に事業所を展開



# 海外売上高(連結)



	08/3		09/3		10/3		11/3	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
中国	20,080	37.3%	14,655	30.5%	7,439	31.8%	12,652	28.2%
東南アジア	23,158	43.0%	24,969	52.1%	11,844	50.7%	24,054	53.7%
米州	6,342	11.8%	3,646	7.6%	1,423	6.1%	4,546	10.1%
欧州	3,699	6.9%	2,571	5.4%	1,656	7.1%	1,886	4.2%
その他	549	1.0%	2,109	4.4%	1,017	4.3%	1,678	3.8%
合計	53,830	100.0%	47,951	100.0%	23,380	100.0%	44,819	100.0%
対総売上高比率	39.8%		37.7%		27.5%		41.5%	

売上高 12,652 百万円 (前期比 70.1% 増)

対海外売上高比率  
28.2%

## 2011年3月期 概況

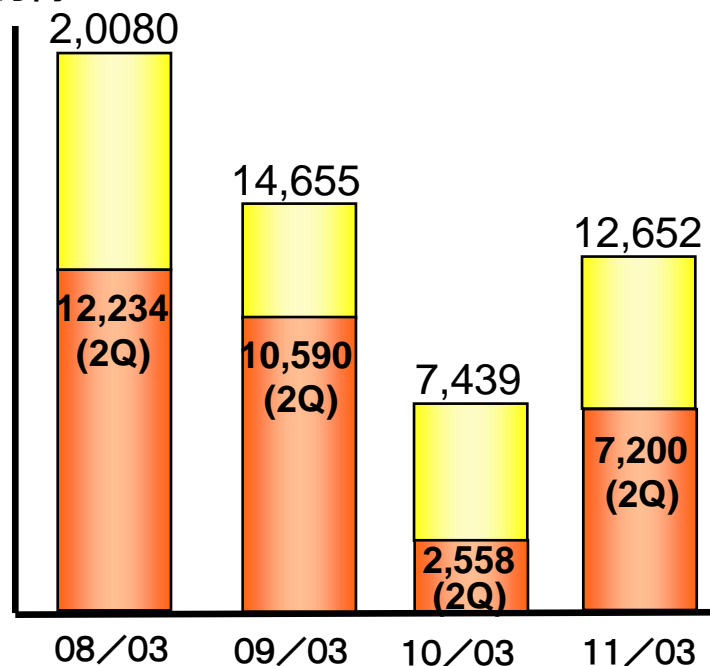
ITおよびデジタル関連機器製造会社向け電子部品実装機、基板印刷機、各種検査機等の販売が好調。華南、華北で自動車関連業界向け成形機と周辺機器が伸長。売上高が大幅に増加した。

## 2012年3月期 見通し

震災の影響や円高傾向も続いており、中国への生産活動の移転は拡大する見込みである。高付加価値、低価格化が進む中で設備機器も中国内でのノックダウン生産が増えており、優秀なメーカーの発掘とネットワーク構築を図る。長春、武漢に事務所開設予定。

## 売上高(連結)

単位  
百万円



売上高 24,054 百万円 (前期比 103.1% 増)

対海外売上高比率  
53.7%

## 2011年3月期 概況

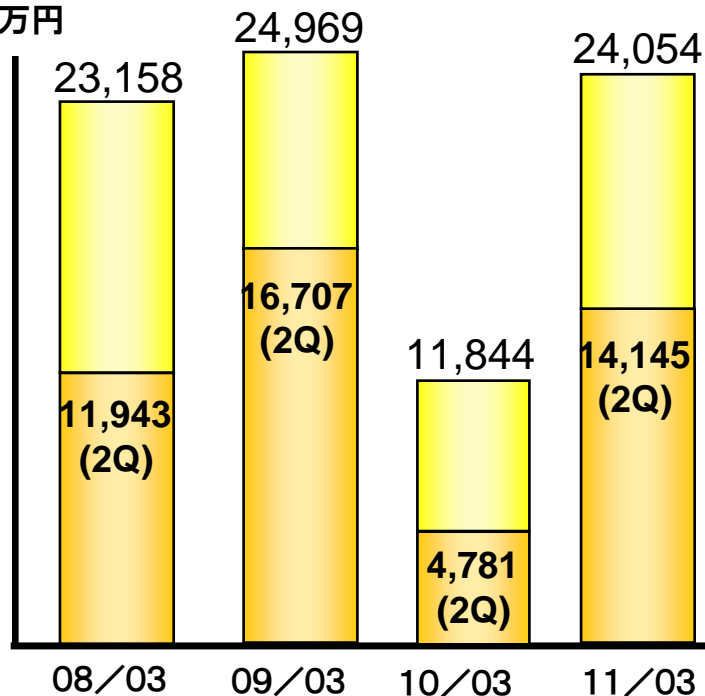
新興国での消費拡大に伴う各メーカーの増産体制対応の為、ITおよびデジタル関連機器、家電、二輪、自動車業界向けの設備が好調であった。インドにおいて大手二輪メーカー向け塗装設備の大型受注に成功。

## 2012年3月期 見通し

震災の影響で一部生産が落ちている業界もあるが、半導体、家電、二輪、自動車関連はタイ、インド、インドネシア、ベトナムで引き続き堅調と見込まれる。今後はプラント、環境対策設備等の拡販を図る。

## 売上高(連結)

単位  
百万円



# 世界4軸体制 ～米州～

売上高 4,546 百万円 (前期比 219.5% 増)

対海外売上高比率  
10.1%

## 2011年3月期 概況

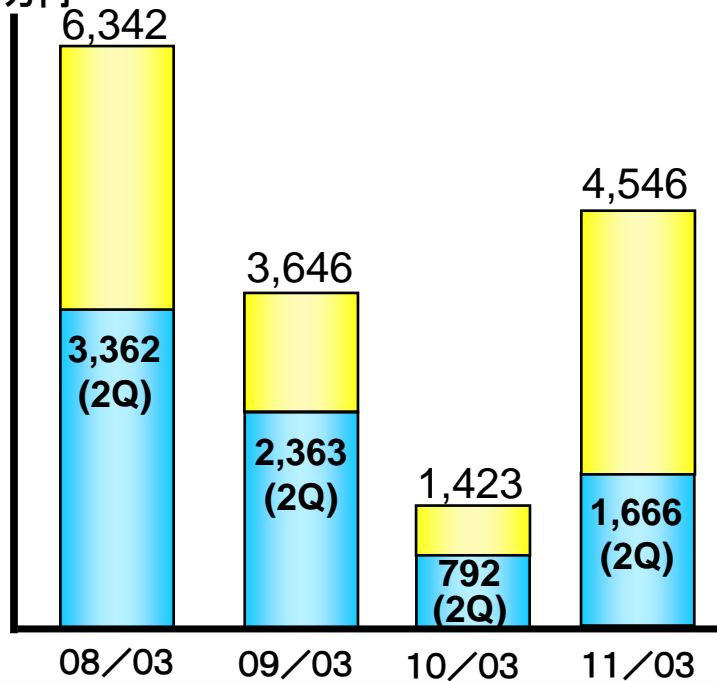
デジタル関連機器製造会社向けや車載機器関連で後半から受注が伸びた。LIB関連において大型受注に成功しており、プラスチック、石油化学分野での設備投資も復調している。

## 2012年3月期 見通し

新興国も抱える地域であり、米国ではLIB、創薬、化学プラント関連、ブラジル、メキシコでは家電、二輪、自動車業界向けに顧客開拓を図る。

## 売上高(連結)

単位  
百万円



# 世界4軸体制 ～欧州～

売上高 1,886 百万円 (前期比 13.9% 増)

対海外売上高比率  
4.2%

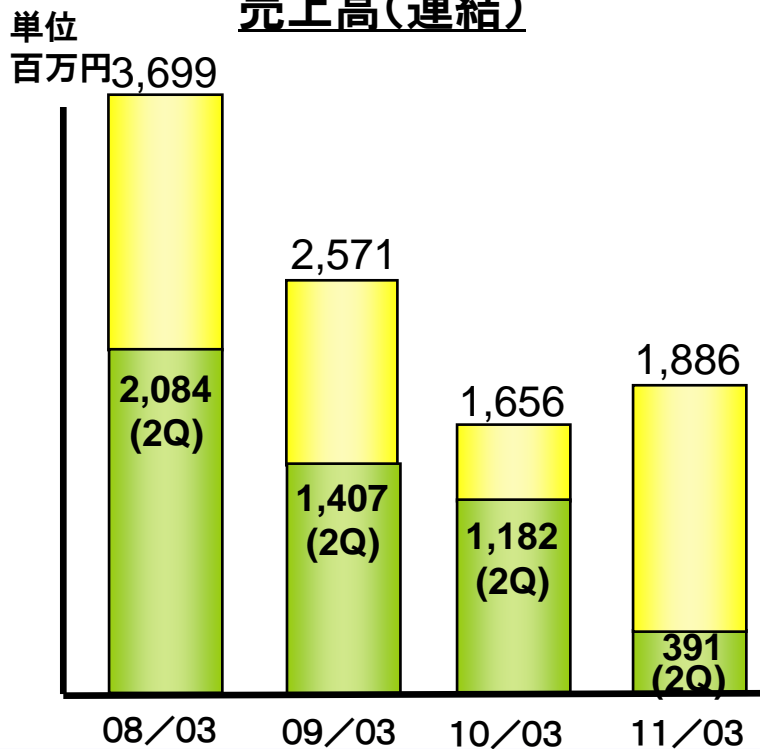
## 2011年3月期 概況

欧州全体の不況により売上高は低迷しているが、下期には復調の兆しがあり微増となった。

## 2012年3月期 見通し

自動車、家電関連で復調の兆しは見えており、車載機器関連、化学プラント、LIB関連で拡販を図る。また、環境先進国が多い欧州で新商権の獲得、また日本の先進技術を応用した新顧客の獲得を目指す。

### 売上高(連結)





- I. 2011年3月期 決算概要
- II. 配当政策
- III. セグメント別概況
- IV. 海外事業概況
- V. 2012年3月期見通し**
- VI. 中期経営計画の進捗状況



## 2012年3月期 決算見通し

単位 百万円

	11/3 通期 実績	12/3 通期 見通し	増 減
受 注 高	114,315	124,000	9,685
売 上 高	108,079	122,000	13,921
営 業 利 益	4,243	4,550	307
経 常 利 益	4,362	4,600	238
当 期 純 利 益	2,448	2,600	152
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	46.90円	49.80円	2.90

年 間 配 当 金	13円	13円	—
-----------	-----	-----	---

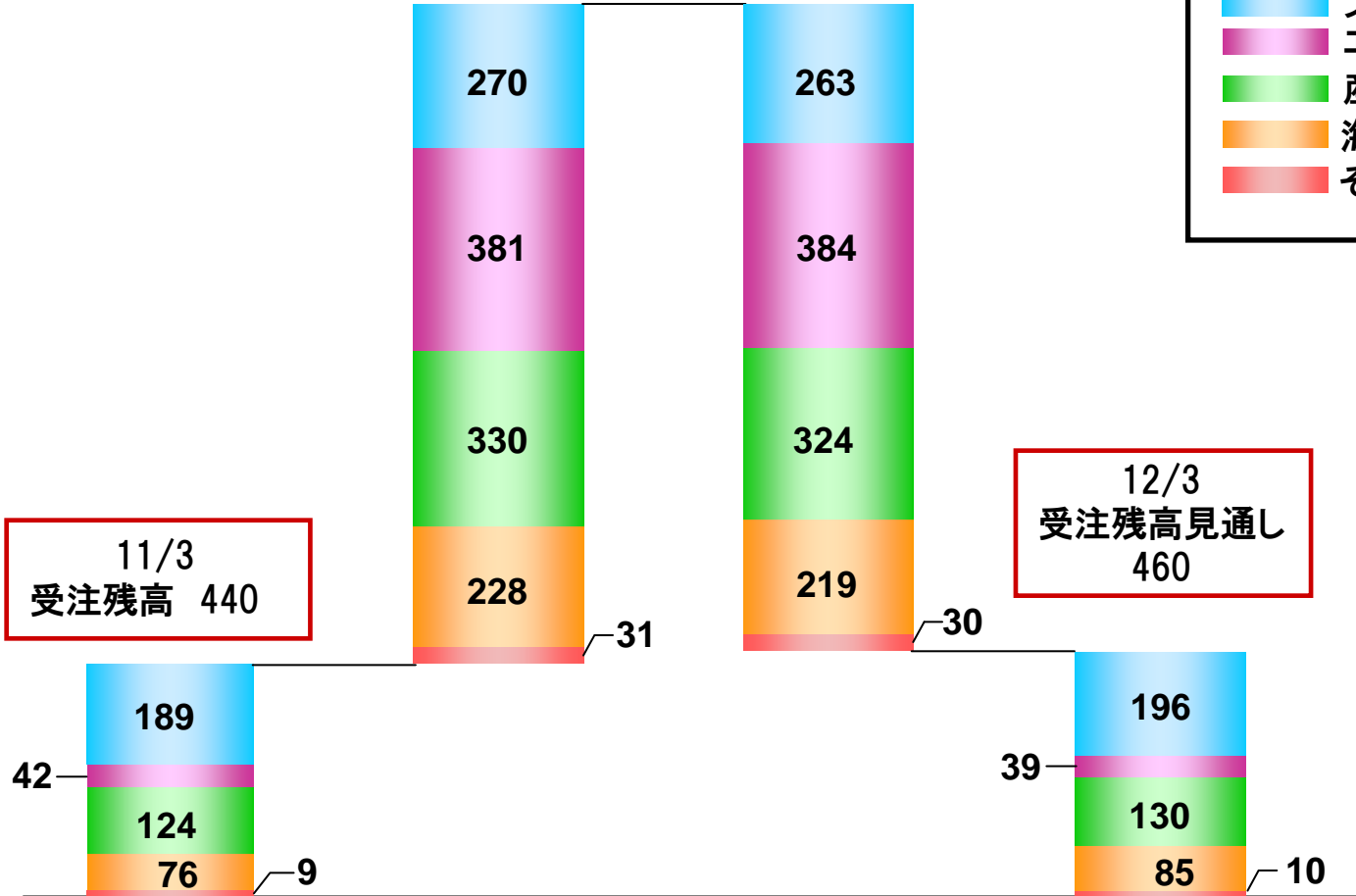
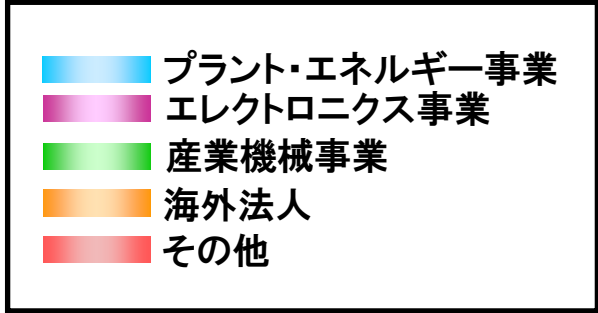
# 2012年3月期 セグメント別受注高および受注残高見通し



12/3  
受注高見通し  
1,240

12/3  
売上高見通し  
1,220

単位 億円



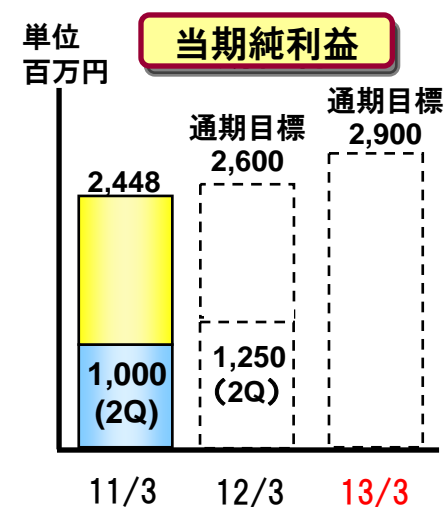
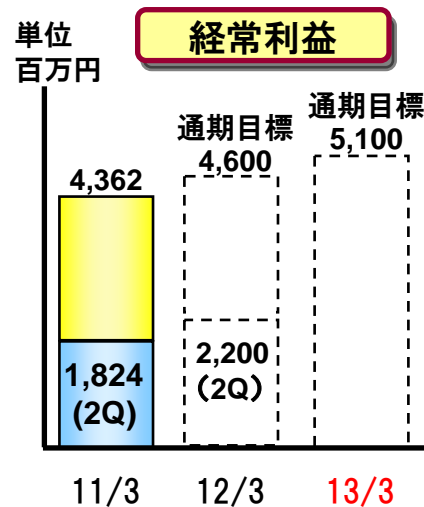
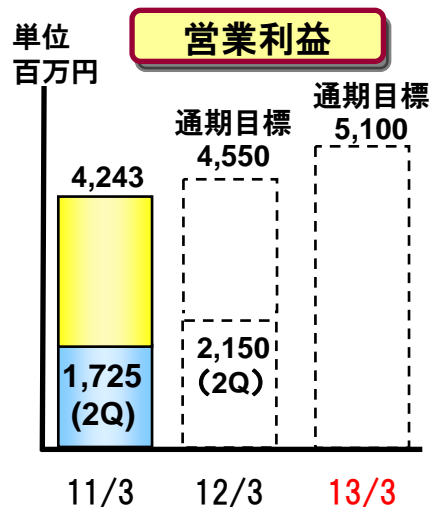
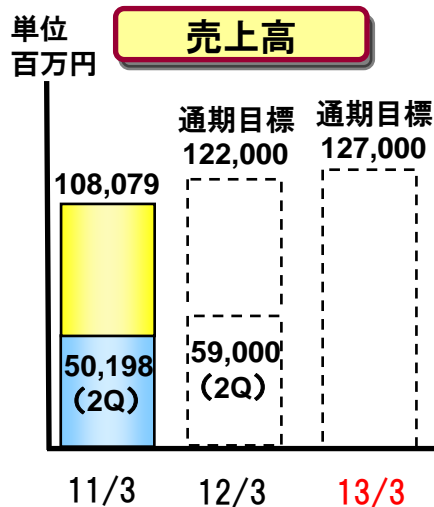
- I. 2011年3月期 決算概要
- II. 配当政策
- III. セグメント別概況
- IV. 海外事業概況
- V. 2012年3月期見通し
- VI. 中期経営計画の進捗状況**



# 中期経営計画「ACT2012」 定量目標 (連結)

**2013年3月期 売上高1,270億円、営業利益51億円を目標**

単位 百万円	2011年3月	2012年3月	2013年3月
売上高	108,079	122,000	127,000
営業利益	4,243	4,550	5,100
経常利益	4,362	4,600	5,100
当期純利益	2,448	2,600	2,900





信頼されるグローバル・ビジネス・クリエイターへの積極的挑戦！！

## 事業収益基盤の強化と拡大

- **グローバル展開の更なる推進**
  - ・中国内陸部に拠点開設予定(武漢・長春)
  - ・5軸、6軸体制への更なる海外展開の推進
- **新規成長分野への取組み強化**
  - ・二次電池製造関連機器、環境対策関連機器の積極的拡販
  - ・パワーエレクトロニクス基板へ取組み強化
  - ・LED関連事業への積極的参入
- **コアビジネスの徹底・強化**
  - ・海外ネットワークを活かした多国間取引、現地調達への推進
  - ・製造メーカーへの開発案件の積極的提案

## 連結経営の高度化・効率化の推進

- **財務体質の更なる強化**
  - ・ROE、ROAの改善
- **組織改革および人財の育成**
  - ・執行役員制度の導入
  - ・ナショナルスタッフの日本での研修を実施
  - ・ジョブローテーション制度の対象を国内勤務から海外勤務まで拡大
- **経営システムの整備・強化**
  - ・社内会議等のIT化を推進
  - ・ワークフローシステムの導入

# ご清聴ありがとうございました

お問合せ先 IR・広報室

TEL:03-5214-8611 Fax:03-5214-8503

E-MAIL:djk\_ir@djk.co.jp

HOME PAGE:http://www.djk.co.jp/

東京都千代田区二番町11番19号



## 第一実業株式会社

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標、その他歴史的事実でないものは、現時点での入手可能な情報に基づき、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。